

平成30年度入学式式辞

どうぞお座り下さい。

新入生そしてご家族の皆さん、これまでの人生の中で最も素晴らしい日を、本日お迎えになりました。ご入学、心よりお祝い申し上げます。

本日ここに、河村たかし名古屋市長、橋本ひろき市会副議長をはじめ、ご来賓のご臨席を賜わり、新入生1118名の入学式ができますことに、大学を代表して深く感謝申し上げます。

1118名は、名市大始まって以来最大の人数で、しかも語呂が良いですね。皆さんの輝かしい前途を祝し、名市大のさらなる発展を誓っているかのようです。

本日は、輝かしい入学式が思い出に残ればとの思いから、厳粛な中にも楽しい趣向を考えています。

その1つは、本日の入学式の様子を、You-Tubeにアップすることです。「名古屋市立大学入学式」と検索して下さい。ただ、アップされるのは、1週間ほど先になります。ご家族や友人と、入学式を振り返りながら、名市大に入学した喜びと誇りを噛みしめていただければと思います。

式が始まるまで会場では、歌手キロロさんの「未来へ」を流していただきました。20年前にリリースされた曲ですが、心打たれる歌で、今でも親しまれています。

20年前といえば、ちょうど皆さんが生まれた頃です。ご両親は、「未来へ」を聴きながら、皆さんに愛情を注ぎ、今日の晴れの日を夢見てこられたことでしょう。

心に残る歌詞、「母がくれたたくさんの優しさ愛を抱いて歩めと繰り返した」に胸打たれ、「ほら足元を見てごらんこれがあなたの歩む道ほら前を見てごらんあれがあなたの未来」に、誰もが勇気もらっています。

本日、皆さんがここにあるのは、ご家族の慈しみに依るものです。ご両親への深い感謝の念をいつまでも持ち続けてください。

「愛情」といえば、皆さんには、名市大への「愛校心」も持っていただきたいと思います。その願いを込めて、名市大の沿革をご紹介します。

名市大は、134年前創立の薬学部と、75年前創立の医学部を源流とし、これら2学部が68年前、1950年に統合して開学されました。

その後、経済学部、人文社会学部、芸術工学部と、今年20周年を迎える看護学部、そして今年新設された総合生命理学部の7つの学部と研究科からなる、伝統ある総合大学に発展してきま

した。

今、名市大は、7つの学部が心を一つにして、明るい未来に向かって歩んでいます。その指針として、4年前、開学記念日に「大学憲章」と、15年後の未来を描いた「名市大未来プラン」策定し、事前に新入生にお配りしました。

それらと共にホームページや、定期的にお送りする広報誌を通して、名市大への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

名市大は、このようにして最近、社会から高い評価を得ています。それらを数字を用いてご紹介します。

まず 13。イギリスの調査機関 Times Higher Education による「世界大学ランキング」で、名市大は、世界で T 8 0 00 大学中、同率 601 位、国内で 7 8 0 大学中、同率 13 位。トップ 2、3%の大学だと評価されました。(皆さん、遠慮なく拍手をしてください)

次は 1 と 15。日経新聞の調査による「地域貢献度ランキング」で、名市大は全国 15 位、東海地区ではなんと 1 位でした。

最後は 19。名市大のブランド力は、東海地区調査で、1 昨年の 29 位から昨年 19 位に躍進したことが、調査機関リクルート社から特筆されました。「名市大は、実力はあるが知名度が低い」の評判を、ようやく払拭しつつあります。

名市大は、この評価に緩むことなく、名市大未来プランに掲げる「世界をリードする大学」を目指してまいります。新入生の皆さんは、全国でも有数の名市大に入学した「誇り」と「愛校心」を持って、お配りした NGU のバッチを胸につけてください。

次に、名市大の実力とブランド力を高める原動力となった、特色ある取り組みと学生生活動をご紹介します。

皆さんが入学後最初に学ぶ「教養教育」は、すべての教員が学部の壁を超え、すべての学生を教育する、全国でもユニークなシステムです。皆さんは必ず、専門性と教養を兼ね備え卒業されることでしょう。

名市大では、社会の多様な変化に対応して、新たな学部やコースを設けてきました。先ほどお話した、.総合生命理学部に加えて、

経済学紐究科では、医学・薬学と協力して、全国初となる「医療経済マネジメントコース」を開設

し、この 3 月に一期生が修了しました。新しい感性を持った医療が、名市大から全国に発信されることでしょう。

人文社会学部では昨年、医学・看護と連携した理コース」を全国で初めて開設し、これから増えるであろう、学校や医療での心の悩みに応えてまいります。

医学部と芸術工学部が共同した「医療デザイン研究センター」も全国初のもので、来年誕生する一期生の活躍や、先駆的な研究に、産業界からすでに注目を浴びています。

名市大が最近力を入れているのは、キャリア支援とグローバル化です。皆さんは、チャレンジ精神をもち、大きな夢を抱いて、世界で活躍する名市大生になって下さい。本日はこの観点から、外国人留学生代表にも入学生宣誓をしてもらいます。

名市大の特徴の 1 つは、医療系の 3 学部を持つことで、公立大学では名市大だけのことです。全国トップクラスの優れた病院で、心豊かな医療人、独創的な研究者になってください。

ところで、名市大生のイメージである、「優秀で真面目、でもおとなしい」が少しずつ変わっています。勉学に加えて、研究や社会貢献、国際活動に励む学生が増えています。頼もしい限りです。

例えば、人文社会学部では、4 年前から、施設の子供たちを名市大に招き、学習支援をしています。わが国の子どもの貧困率が 17 % を越えた現在、この活動は社会から注目されています。

医学部では、厳しい勉学の中、水泳大会やゴルフ大会で毎年表彰台にのぼる学生たちがいます。3 年の田多さんは、ジャグリングの国内外の大会で優勝を重ねています。この後、披露していただきます。

薬学部では、学生時代にすでに優れた研究をし、学会から表彰される学生たちが、昨年 1 年間だけでも約 20 名もいました。

芸術工学部では、デザイン作品や造園設計で学会表彰された学生や、開学 65 周年の記念映画などを上映した学生たちがいます。

なお、これらの映画は、You-Tube にアップしています。

開学 65 周年を記念して、芸術文化センターで、教職員とともに本学の管弦楽団・学生らによるベートーベン第九の、美しくも力強い一体感ある合唱は、17 00 名の観衆を感動の輪で魅了しました。

これも、You-Tube にアップしています。

ここで、皆さんを歓迎して、名市大アカペラグループ「アンダンテ」に、歌っていただきます。

ありがとうございました

次に、田多さんにジャグリングを披露していただきます。

田多さん、ありがとうございました。

最後に皆さんに、学長からのメッセージをお送りします。テーマは、「愛と未来」とします。

式辞の初めに、キロロさんの「未来へ」を聴きながら、2つの愛、「家族の愛」と、「名市大への愛校心」を話しました。

小説家の司馬遼太郎さんは、「21世紀に生きる君たちへ」と題する若者へのエッセイの中で、「未来を切り拓くのは愛であり、その原点は人への思いやりである」

しかし、やさしさや思いやりは本能ではなく、「訓練により身につけるものである」と書き遣されています。

司馬さんは、「洪庵のたいまつ」というエッセイも残されています。その中で、「世のために尽くした人の一生ほど、美しいものはない」、その人こそが緒方洪庵だと紹介しています。

洪庵は、江戸時代の鎖国のなかオランダ医学を学び、私財を投じて「適塾」をつくり、大村益次郎や福沢諭吉など明治時代を切り拓いた逸材を多く育てました。

一方、洪庵は、自分自身と弟子には厳しく、「人の為に生活して、己の為に生活せざるを本禮とす。安逸を思わず、名利を顧みず、唯己をすて、人を救わんことをこいねがうべし」といませめています。

新入生の皆さん、洪庵が言う、社会を照らすたいまつとなり、未来を切り拓く人材になってください。

その思いを込めて、私の好きな言葉「凌雲の志」を揮毫しました。額を持っていただく人がおられますか？

人は誰でも、目標を成し遂げると満足し、努力を怠りがちになるものです。本日、憧れの名市大生になり、ほっとされていることでしょうか、人生はこれからです。

本学は、輝かしい伝統のもと、世界に冠たる大学として飛躍してまいります。皆さんは、そのよう

な名市大の一員に、本日なられた誇りと愛を持ち、世界に羽ばたいてください。教職員一同、皆さんをわが子のように思い、時には厳しくも心温かく応援してまいります。
名市大へのご入学おめでとうございます。

平成 30 年 4 月 5 日

名古屋市立大学 学長
郡健二郎